



# 信田みつやす MITSUYASU SHIDA REPORT 2024 した光保 県議会レポート

した光保事務所 〒288-0044 千葉市銚子市西芝町13-20 電話0479-25-3284

## 持続可能なまちづくりを目指して!



「地方こそ、成長の主役」を掲げ、千葉県議会、議長経験者として、ますますその手腕を発揮する信田光保県議(銚子市・香取郡東庄町選出・6期)は、2月定例県議会に登壇し、県行政の課題や地域の諸問題について、熊谷知事はじめ県執行部に見解をたずねました。

特に地方部は、少子高齢化・人口減少・過疎化が一段と加速し、将来に対する不安感が増しております。しかしながら、地域の持つポテンシャルを次世代に活かすためにも、今回の質問では、「道路整備」はじめ、「県職員の確保定着」問題をはじめ、「外国人の人材確保」、「医師確保対策と医療連携」の問題等を取り上げました。

その概要の部を抜粋し掲載します。

### 2月県議会・一般質問に登壇

## 今こそ、将来に向けた基盤整備を促進

### 外国人実習制度の廃止、新たに「特定技能2号」農業分野へ拡大!

#### 信田県議

本県の農業分野における外国人労働者の状況を踏まえ、国の制度改革をどのように捉えているのか。

#### 前田農林水産部長

労働人口が減少する中、県民と外国人が互いに理解し共に活躍することとは、本県農業の持続的な発展に向けて、重要なことだと考えています。また、本県の農業分野で働く外国人は令和5年10月末で、3,376人と比べて、5年前の平成30年と比較し、1.8倍になるなど、外国人労働者は、本県農業を支える貴重な人材となっています。このような中、国では、長期雇用が可能な「特定技能2号」を農業分野に拡大したほか、人材の確保と育成を目的とした「育成就労制度」の創設に向けて検討を進めるなど、今後農業分野においても外国人の更なる活躍が期待されます。

#### 壇上で地域の懸案を取り上げる信田県議

#### 信田県議

外国人労働者にとって、本県の農業が魅力ある就業先となるよう、県としてどのように取

#### 前田農林水産部長

外国人労働者確保のためには、働きやすい環境整備や農業経営者の外国人雇用に関する理解促進を図ることが重要です。

そこで県は、外国人労働者の定着に向け、居住施設等の整備や、翻訳機の導入への助成のほか、経営者向けに、外国人雇用に関する研修会を開催してまいります。

開催するなど、労働環境の改善を図る取組を支援しているところです。さらに、農業経営者が「特定技能2号」の在留資格を有する者等を行う、農業経営者の知識習得などの人材育成に要する経費についても助成するなど、本県農業が就職先として外国人に選ばれるよう、国の今後の動向も注視しながら、支援の充実に取り組みを進めてまいります。



議場の自席で再質問、要望する信田県議

### 医師確保対策と医療連携について

#### 信田県議

医師修学資金貸付制度について、これまでの取り組みはどうか。

#### 鈴木保健医療担当部長

医師修学資金貸付制度は、地域医療への従事者を要件に変換免除となる医学生への貸付制度であり、平成21年度に創設

されました。近年では、年間60名規模の新規貸付を行っており、これまでに累計625名に貸し付け、現在までに本制度を利用して医師となられた方は283名となります。

令和5年度においては、そのうち、新たに医師となった54名を含めた248名が変換免除要件に沿って県内の15の公立病院、35の民間病院に勤務しています。

県では、地域医療への従事と医師としてのキャリア形成の両立に向けた支援が重要と考えており、修学資金生に対する、在学中から地域医療を学ぶ機会を提供や、医師へ個別相談ができる体制を整えており、引き続き、本制度を活用した医師の確保に取り組みを進めてまいります。

#### 信田県議

医師修学資金貸付は小規模な公立病院など、特に医師の確保に苦慮している病院の医師不足の解消にどのように寄与しているのか。

#### 鈴木保健医療担当部長

修学資金貸付制度では、返還免除要件として県内指定医療機関において最大9年間勤務することとしており、医療需要に比べ医師が少ない山武長生夷隅医療圏や、医師の確保が困難な小規模な公立病院などにおいて、9年間のうち、2年以上就業することとしています。

このような医療機関で就業している修学資金生は、非常勤で勤務している方を含め昨年度は15名でしたが、今年度は37名と大幅に増加しており、具体的な勤務先としては、多古中央病院、

東陽病院、大網病院などの小規模な公立病院も含まれています。今後もこのような病院で就業する医師をより多く確保できるよう、研修病院で指導する医師のスキルアップや、修学資金生のキャリア形成支援に取り組みを進めてまいります。

#### 信田県議

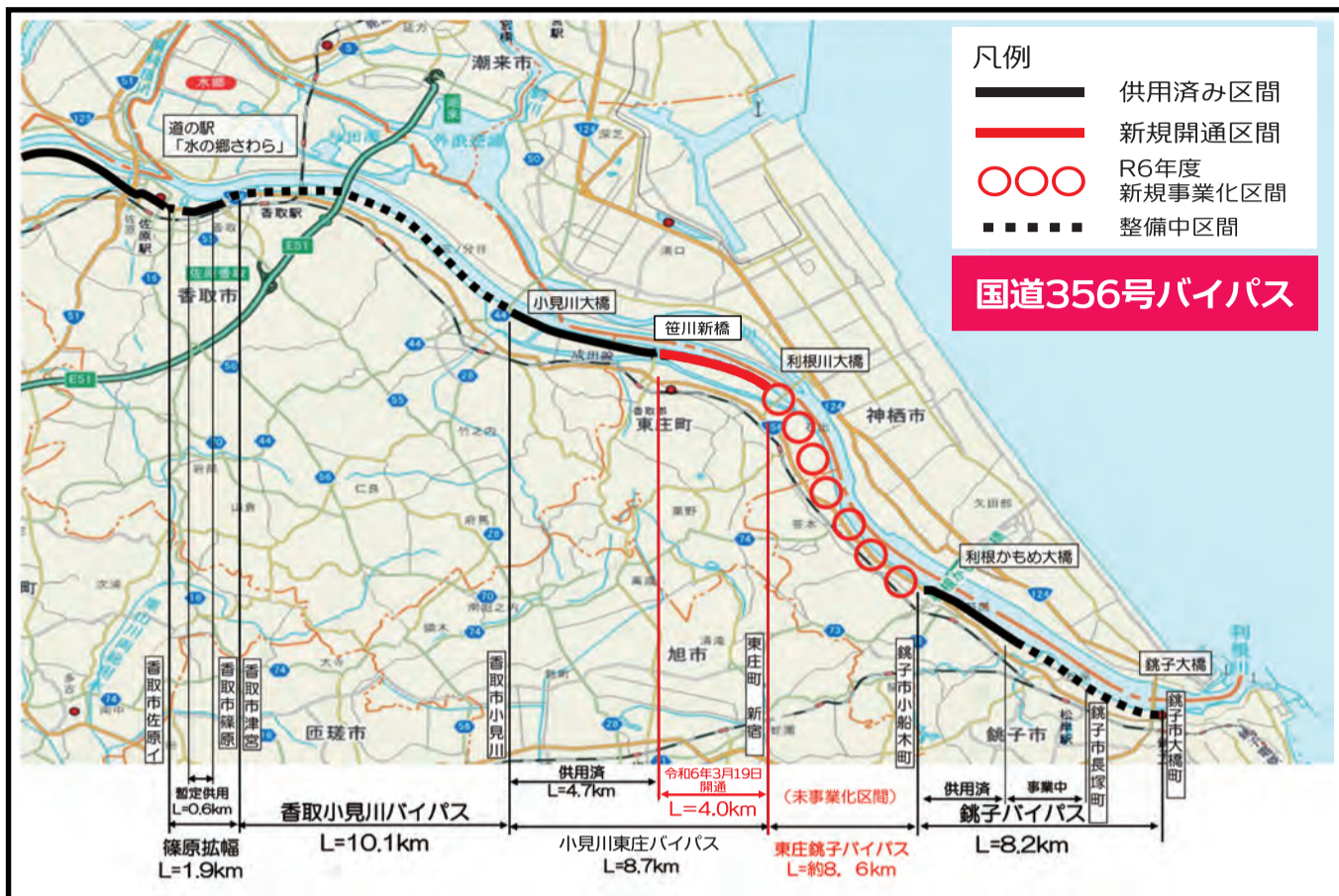
かつての東総地域医療連携協議会と同様に、公立病院間の連携について協議を進めるべきと思うがどうか。

#### 鈴木保健医療担当部長

東総地域医療連携協議会は、平成18年1月から平成21年にかけて、銚子市、旭市、匝瑳市及び東庄町における公立病院間の医療連携について協議を行っていたものですが、その後、地域医療構想の策定に合わせ、参加者や議論のテーマを拡張した香取海匠地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を設置し、現在に至っています。

同会議においては、地域の公立病院が果たすべき役割や機能、連携強化の方向性等について議論を行うとともに、それらを反映させた病院毎の「経営強化プラン」について協議するなど、公立病院を始めとする医療機関連携の推進に取り組みしており、今後とも、しっかりと対応してまいります。

# パイプスの整備効果を東関東道・圏央道へ!



## 「東庄鏡子バイパス」新規事業化へ

### 道路整備について

▼信田県議

国道356号鏡子市から東庄町間の未事業化区間の取り組み状況はどうか。

事業化に向け、県土整備公共事業評価審議会に諮るとともに、2月10日には、東庄町公民館において、道路計画の概要などの地元説明会を開催し、現在、パブリックコメントを実施しているところでは、令和6年度の新規と

▼池口県土整備部長

鏡子市から東庄町間催し、現在、パブリックコメントを実施しているところでは、令和6年度の新規と

▼信田県議

道路事業を円滑に進めていくため、職員の増員など、土木事務所の体制強化をすべきと思うがどうか。

▼野村商工労働部長

限られた人員で成果が得られるよう、職員の経

▼信田県議

土木職において、中堅職員をはじめとした職員不足に対し、行政運営に支障が生じないように、どのように対応しているのか。また、今後、土木職の職員確保に向けて、どのように取り組んでいくのか。

▼池口県土整備部長

県では、土木職員の確保が困難な状況を踏まえ、工事監督や関係機関協議などの外部委託を積極的に進めるとともに、一時的な職員不足に対しては、臨時的任用職員の採用などにより、行政運営に支障が生じないように努めております。

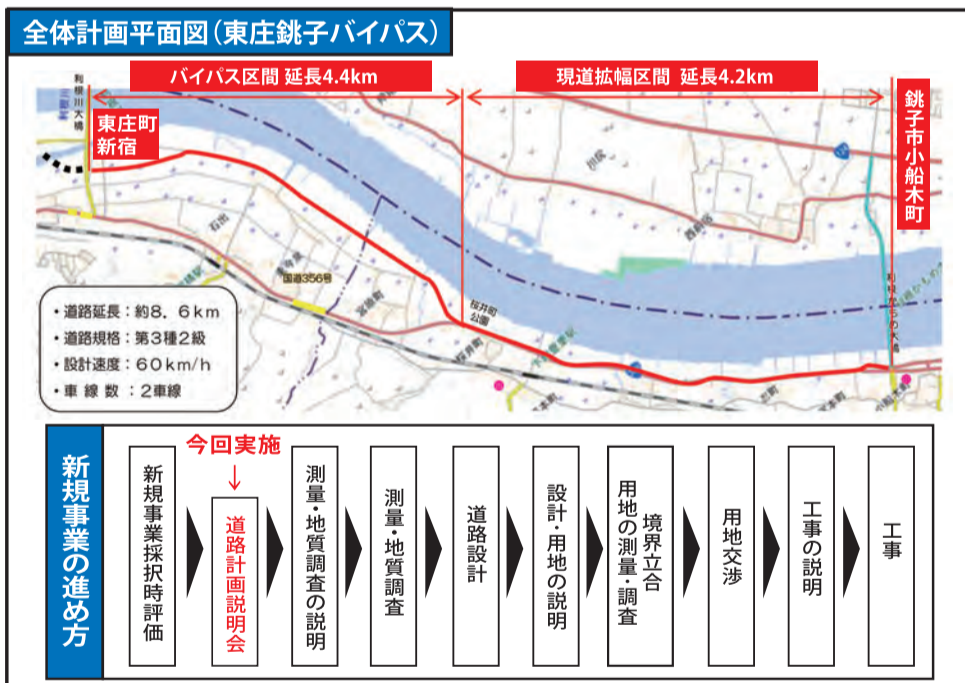
また、学生の採用に向けて、庁内にプロジェクトチームを設け、職員の出身大学での説明会や、現場見学会などを実施しています。さらに、中堅職員確保のため、今年度、社会人採用における専門試験を廃止し、必要な民間企業等の経験年数を短縮したほ

験等を踏まえ、適正な配か、来年度は、民間転職サ引き続き、こうした取組置を行うほか、必要に応イトを活用した採用情報を通して、土木職員の確保の発信強化を検討していや年齢構成の平準化に努めてまいります。



東庄鏡子バイパス道路計画説明会(令和6年2月・東庄町公民館)

## 未事業化区間「新規事業化へ」東庄町新宿〜鏡子市小船木町延長約8.6キロ



## 県への要望活動

### 要望

「県都一時間が大きく変わりゆく中で、構想」と「高速この構想が実現した暁に道路アクセス30分構想」が、地域が疲弊し、人もい策定されてから38年となない、車も走らないでは、最悪であります。

道路整備には、千葉県「国道356号パイパだけなく、国との連携の」が県都一時間構想のもと、莫大な予算と時間 実現に寄与できる道路と理解しておりますが、時代通を要望する。



国道356号バイパス等、県へ要望する市町長・県議



地元県議を代表して挨拶する信田県議(県庁)

# 令和6年春“道路ネットワーク”次々と開通!



開通を祝しテープカットに参列 (右から4番目)

国道356号は、銚子市を起点に東庄町、香取市、神崎町等を経て、我孫子市に至る県北部地域の経済活動や観光産業等を支える全長96キロの幹線道路です。現在、市街地の混雑緩和と歩行者の安全確保等を図るために小見川東庄バイパス(香取市小見川)と東庄町新宿間8.7キロ、銚子バイパス(銚子市小船木町)と大橋町間8.2キロ等の整備を進めており、小見川東庄バイパスの残り区間については、本年3月19日に開通しました。

**開通区間の概要**

開通日時: 令和6年3月19日(火)  
 開通区間: 東庄町新宿～笹川い  
 延長: 4.0km  
 幅員: 9.0m(車道6.5m)  
 車線数: 2車線  
 着手年度: 昭和59年度

令和6年  
3/19  
開通

小見川東庄バイパス

**東庄町笹川新橋と利根川大橋(逆水門)間が開通**



新設された黒部川新橋

令和6年  
3/21  
開通

## 広域農道(三宅町～新町1.3キロ)が開通

### 全線供用開始

広域農道整備事業において整備しておりました、三宅町～新町までの1.3キロ区間が完成し、平成4年度から建設を開始した東総台地地区広域営農団地農道は本区間の完成をもって全線供用開始となります。



待望の広域農道が全線開通 (左から2番目)



急ピッチに工事が進む北ルート (R6.3月9日現在)

下総橋停車場東城線バイパス(北ルート)は、谷原息栖東庄線や旭笹川線、東総台地地区広域営農団地農道等とネットワークを構成し、旭市をはじめとする東総地域と茨城県神栖市を結ぶ千葉県東部地域の活性化等に必要道路であり、また、茨城県波崎工業団地と東庄工業団地、国保東庄病院と旭中央病院を連携するなど、産業や医療にとっても重要な道路となっております。

しかし、現道部は幅員狭小で屈曲しており、歩道もないことから通学や周辺住民の日常生活に支障をきたしております。

その為、新たにバイパスを

現在、東庄工業団地に上る道路の法面工事、側道工事等を実施しております。今後、調整池の用地買収等の整備を行い、早期完成を目指してまいります。

現在、東庄工業団地から国道356号に至る1kmを整備中で、同区間中にJR成田線をまたぐ、橋長140mの新宿跨線橋があり架設工事まで完了しております。

**〔県道下総橋停車場東城線バイパス〕**  
**〔東庄町宮本～新宿〕**

# 広域的なネットワーク道路の充実!



工事が完了した清滝バイパス (R6.3.9撮影)

清滝バイパスは、旭市のり東総広域農道と県道73号と岩井を結ぶ延長2.6キロの道路で、今回、未開橋が一本でつながること通の2.4キロが開通し、全線により、交通の円滑化や安全性、利便性の向上が期待されます。

令和6年  
3/13  
開通

清滝バイパス  
旭市岩井〜清滝間が開通

## 利根川河口堰(逆水門) 大規模地震対策事業

本事業は、切迫している首都直下地震に備え、利根川河口堰及び黒部川水門の大規模地震に対する耐震性能を確保することにより、大規模地震発生後においても、流水の正常な機能の維持及び塩害防除等、都市用水及び農業用水の安定供給、並びに安全な施設管理を図る施設の改築を行うものである。

### 【事業概要】

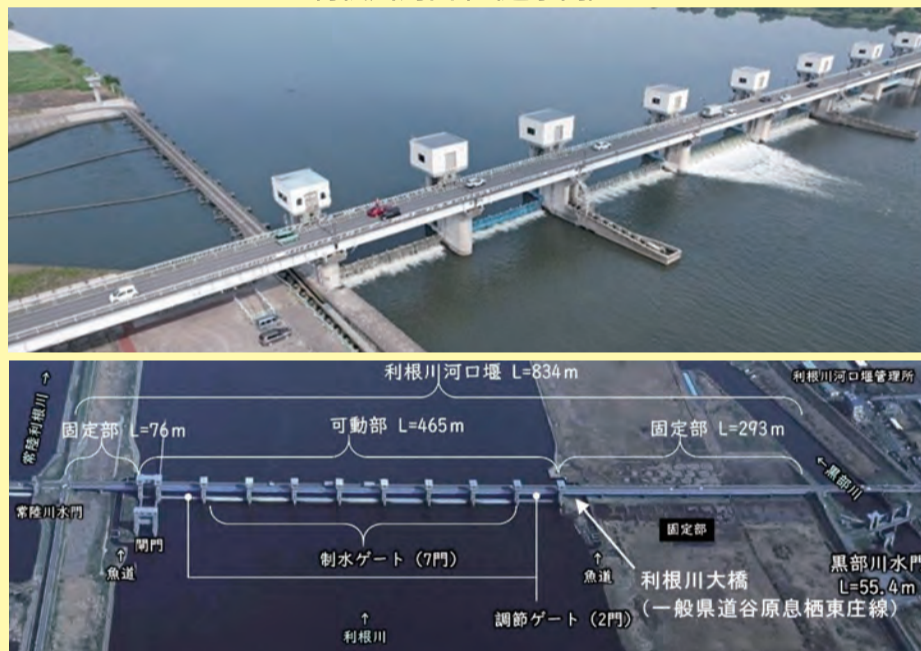
主な事業内容:ゲート設備交換、土木構造物等の耐震補強

【事業費】550億円

【工期】令和6年~20年度(15年)

【関係機関】千葉県(農林水産部、県土整備部、企業局水道部・工場用水部)、銚子市、東京都、埼玉県

利根川河口堰(逆水門)



## 写真で見る議員活動



○県政についてのご意見・ご要望をお寄せ下さい...

ホームページ

信田光保

検索

しだ光保事務所

〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F

TEL.0479(25)3284 FAX.0479(22)1816